

6月の基調判断

新型コロナウイルス感染症第4波の影響により
持ち直しの動きが弱まっている

製造業	➡	緩やかな持ち直し
観光	➡	厳しい状況が続いている
小売店販売	➡	持ち直しの動きが弱まっている
乗用車販売	➡	弱含み

住宅着工	➡	一部に弱い動き
公共工事	➡	横ばい
雇用	➡	横ばい
企業倒産	➡	低水準で推移している

[直近の3ヵ月(4月~6月)の変化の方向] ➡上向き ➡横ばい ➡下向き

注) 小売店販売は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2020.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2021.1	2	3	4
鉱工業生産指数	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	—
小売店販売額	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○
乗用車・軽乗用車販売台数	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
新設住宅着工戸数	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●
公共工事保証請負額	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●
ホテル宿泊客数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
新規求人数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
企業倒産件数	●	●	○	○	●	●	△	△	△	●	○	△	○
プラス指標の割合	0.0	25.0	50.0	37.5	12.5	25.0	50.0	37.5	37.5	25.0	37.5	37.5	71.4

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化

2. 鉱工業生産指数は公表日の関係から最新月「—」表示

3. 小売店販売額は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店の合計

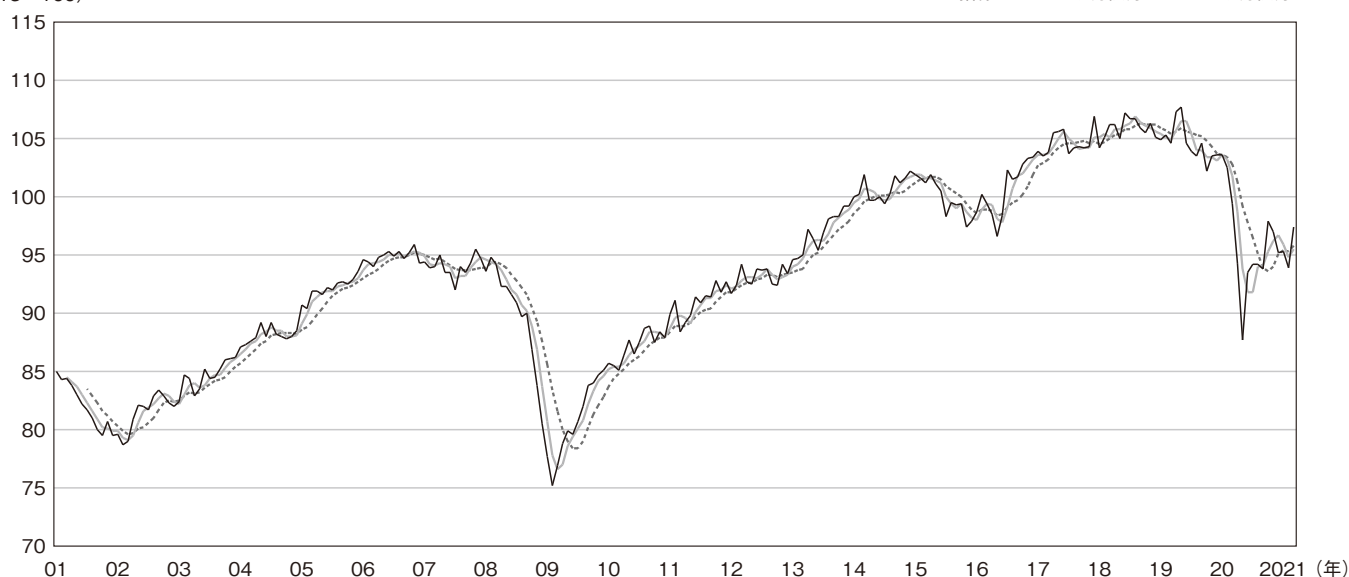
4. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分

5. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計

DKK 指標 (2021年3月)

(2015=100)

—— DKK指標 —— 3ヵ月後方 7ヵ月後方



注) 3ヵ月後方移動平均は足元の変化をつかみやすく、7ヵ月後方移動平均は変化が定着しつつあることを確認する値。

*本指標は、大銀経済経営研究所オリジナルの景気指標です。大分県経済の把握に重要と判断した指標についてCIモデルによる分析を通じて算出したものです。

DKK 指標 (CI) によると、3月の指数は前月比+3.5の97.4と2ヵ月ぶりに上昇しました。項目別では、「宿泊客数」や「百貨店・スーパー・専門量販店販売額」、「所定外労働時間数」などがプラスに寄与しました。